

事例から学ぶため池改修（補修・補強）設計研修会（実務実践研修） プログラム

開催日時：令和 6年 7月 1 日（月） 10：30 ～ 16：50

7月 2 日（火） 9：50 ～ 16：50

主 催：技術マネジメント研究所

講 師：伊藤 純仁 氏

・所属：株式会社日設コンサルタント 代表取締役

・資格：技術士（総合技術監理部門、農業部門）、一級土木施工管理技士、
畑地かんがい技士、測量士、第2種情報処理、第2種下水道検定

・実績：老朽ため池に関する調査、計画、実施設計及び施工監理、老朽ため池に関する技術士会・
各県農業土木技術連盟等での講習会多数、JICA(KITA)「総合水資源管理」コース講習会

[1日目]

1. 概 説 10:30～10:50

- ため池の概要 (パイピング、歴史、現状、今後の展望、堤体の老朽化)
- ため池の定義 (設計基準、基準の変遷、各県における基準)

2. 近年のため池被災事例 11:00～12:00

- 不可抗力に起因する事例 (老朽化、異常気象)
- 人為的なミスに起因する事例 (設計、施工監理)

3. ため池の構造についての基礎知識 13:00～15:50

- 土質関係の基礎知識 (土質の考え方、室内土質試験結果の読み方)
- ため池の構造 (基礎処理、堤体、洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐、法面保護工)
- 各種堤体改修工法 (前刃金工法、グラウト工法、シート工法、ブランケット工法)

4. 施工における留意点 16:00～16:50



[2日目]

5. 堤体設計の考え方 9:50～10:40

- ボーリング調査結果の理解 (地質図の判断、堤体基礎地盤、現場透水試験値)
- 耐震を考慮した設計事例 (解析事例)

6. 洪水量算出・各施設の考え方 10:50～11:20

- 設計洪水量の算出 (確率の考え方、アメダス利用、採用降雨)
- 各構造物の考え方 (堤体、洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐、法面保護工)

7. 各施設の考え方 11:30～12:20

- 洪水吐等の施設の考え方
- 堤体安定計算の考え方

8. 施工監理における留意点 13:20～13:50

9. 新工法 13:50～14:10

- 設計における新工法 (氾濫解析、底樋管更生、堤体・洪水吐切下げ、リサイクル刃金土)
- 機器利用による調査 (堤体電気探査、底樋管内撮影用カメラ、ドローン)

10. 演習 14:20～16:50

- 基礎資料、写真等の配付、堤体標準断面の検討
- グループ討議
- 設計結果発表と質疑応答
- 老朽ため池計画・設計に関するQ&A

事前にQ（質問）のアンケート
を実施いたします。